

# 令和4年度決算を審査

## 物価高騰対策、新型コロナウイルス感染症対策等への対応などに約33億円の補正予算



提供 / 国府小学校

令和4年度の一般会計の歳入は579億円、歳出は527億円で、52億円の黒字決算となり、実質収支は41億円となりました。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、通常の事業実施が困難となる中で、どのように事業の目的達成に向けた取組みが進められてきたのか、どのように課題を捉え、どう対応したのかという視点を中心に、各常任委員会において論点整理を行い決算審査に臨みました。

決算審査の結果、認第1号令和4年度一般会計歳入歳出決算、認第2号国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算及び認第5号介護保険事業特別会計歳入歳出決算は起立多数で、残りの認定案件6件は全員一致で認定すべきものと決しました。

### ● 総務環境委員会 ●

総務環境委員会では、決算審査にあたり実施計画の取組み実績や令和4年3月の予算審査時の指摘事項に対する取組み結果等の確認、コロナ禍で通常の事業実施が困難となる中でどのように事業の達成に向けた取組みが進められてきたか、どのように課題を捉えどう対応したのか等を決算審査の審査方針として質疑を行いました。主な質疑は次の通りです。

#### DXの推進に対する評価について

**問**

DX推進は、市民の利便性の向上と合わせて、コストダウンも重要な観点である。どのように評価しているか。

**答**

DX推進によるコストダウンの取組みについてはRPA（ロボティックプロセスオートメーション）を活用し、業務をロボットにさせることで500時間以上の業務を削減した。

#### 森林環境譲与税の活用について

**問**

100年先の森林づくり推進事業、境界明確化事業の進捗状況は。また林業担い手育成事業には森林環境譲与税が活用されたのか。

**答**

森林境界明確化について、令和3年はコロナ禍により説明会等ができなかったが令和4年は計画通り進めることができた。担い手育成事業は森林環境譲与税を活用し、担い手確保に努めた。

